

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	経営ビジネス学科						
科目名	日本文化論(美術)						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	橋富博喜						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本美術史の大きな流れを記述できる。 ・それぞれの時代の造形的特徴を説明できる。 ・著名な作品について、作者、制作年、特徴、依頼者、影響関係を説明できる。 ・それぞれの美術作品がつけられた時代の文化、社会的状況を説明できる。 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業概要の説明、成績評価法 第2回：飛鳥白鳳時代1-仏教美術のはじめ 第3回：飛鳥白鳳時代2-仏教美術の展開 第4回：奈良時代1-華やかな仏教美術 第5回：奈良時代2-時代の移り変わり 第6回：平安時代1-密教美術の移入 第7回：平安時代2-国風文化の形成 第8回：平安時代3-院政期の美術 第9回：鎌倉時代1-新しい仏教美術 第10回：鎌倉時代2-聖と俗の美術 第11回：室町時代-水墨画の世界 第12回：江戸時代1-狩野派の登場 第13回：江戸時代2-文人画と世俗画 第14回：江戸時代3-洋画の芽生え 第15回：明治の美術</p> <p>定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	40%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	講義は計画どおりに進化した。しかし下記の反省点にも記したが、「難しい」という意見も多く、学生達に内容がうまく伝わらなかった点もうかがえる。						
反省点	学生達のなかで「難しい」という意見がいくつか見られた。講義の内容はほぼ毎年同じ程度で、スライド等も年々工夫してこの意見が多いということは、基本的な歴史を学んでいない学生が増えたとも考えられる。受験科目のなかから「歴史(日本史、世界史)」がなくなり、歴史的な時代の流れに無関心の学生が居ることもたしかである。こういうなかで日本の美術史を伝えるには、もう少し工夫が必要なのかと考える。						
来年度の計画	上記したとおり、「難しい」と考える学生に、「わかりやすく」、「丁寧に」歴史を伝えていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	上記「反省点」、「来年度の計画」に記しています。						
履修登録者数	108名	定期試験 受験者数	92名	合格者数	86名	合格率	93%